

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

12

December 2018
No.790



芸能合同発表会(阿賀町)

阿賀町文化祭として、「合同作品展・資料展」・「芸能合同発表会」が11月に開催されました。日頃の皆さんの練習・作品作りの発表の場です。

4~5

特集

第40回全国公民館研究集会東京で開催される

CONTENTS

- 2………… トピックス 「上越市公民館のつどい」開催
- 3………… 視 点 「地域と共に歩む施設」新潟県生涯学習協会 新潟市会員 頓所 洋一
ひろば 「地域が輝く公民館活動」小千谷市教育委員会生涯学習課 主事 笛木 裕文
掲 示 板 「第2回中越公連代議員会 第2回下越公連代議員会開催される」
- 6………… 実践記録シリーズ 「つなげよう、広げよう真野(真野地区公民館 3つの事業)」真野地区公民館
- 7………… サークル交流 「ストレス解消の特効薬！」(関川村) / 「手作りを楽しむ」(弥彦村)
素 顔 拝 見 南波 豊さん(胎内市) / 五十嵐志帆さん(刈羽村)
- 8………… お元気ですか 「はい。おかげ様で」 柏崎市・長谷川伸子さん
ネットワーク 「平成30年度 第30回全国公民館セミナー開催」

「上越市公民館のつどい」開催

上越市公民館のつどい(糸魚川市・妙高市共催)が11月8日(木)にユートピアくびき希望館(上越市頸城区百間町)で開催されました。参加者は121名でした。内容は講演会、事例発表、グループごとの意見交換という流れが進められ、とても内容の充実した研修会になりました。



ユートピアくびき希望館



笹川会長のあいさつ



上越教育事務所社会教育課 坪谷 秀雄副参事

○説明

・新潟県における今後の生涯学習について新潟県の施策について説明がありました。
生涯にわたり学び活躍できる循環型の生涯学習社会の実現に向け、「新・新潟県生涯学習推進プラン(仮称)」を策定し、スタートを切る予定であると説明がありました。
・上越教育事務所社会教育課 坪谷 秀雄副参事

○講演会

演題 「今こそ公民館！ 学びを通じた自分づくり、地域づくり」
講師 日本体育大学 スポーツマネジメント学部 教授 上田 幸夫氏

・公民館はなくてはならないものです。豊かな地域生活を推進する公民館が今求められて



講師 日本体育大学 上田 幸夫氏

いる。人が集まる条件づくりを心を砕いているかが大切である。これからは公民館活動に参加が困難な人達へのアプローチを考えなくてはならない。等々のお話がありました。



熱心に聴き入る参加者のみなさん



事例発表のみなさん

○事例発表

・上越市立高土地区公民館 公民館主事 上野 秀平さん
地区の宝を強化して、子どもたちにつなげる公民館活動にすることを目標にして、地域の皆さんと一歩一歩着実に進める活動に

していきたくて述べていました。「星空観望会」、「レクリエーションダンス教室」、「お正月準備講座」、「元氣のふるさと講座」、の4つの事業の紹介がありました。

・上越市立吉川地区公民館 公民館主事 石野 正一さん
片桐 雄二さん
公民館運営委員 永井 和晴さん

吉川地区公民館と地域づくり(会議)について発表がありました。7つの地域づくり(会議)と19名の公民館運営委員で取り組んでいる事例の発表がありました。
学びのきっかけづくり「女性学級」、未来を支える人づくり「子どもたちを対象にした二子二子ソウひろば」、地域・現代課題に対応した地域づくり「よしかわ未来塾」、近隣公民館との連携事業「頸北探訪講座」等の紹介がありました。

・千葉県君津市周南公民館 公民館主事 中村 亮彦さん
君津市の事業紹介がありました。力を入れている「ふるさと

運動事業」の郷土文化継承活動、伝統芸能継承活動、地域連帯活動について紹介がありました。公民館職員として大切に感じていること、公民館に求められること、行政システムの一端として機能させること、学びにかかわる職員として自らが学び続けることが大切ではないかという思いを述べていました。

○グループ別の意見交換会
事例発表の3公民館ごとに分かれ、意見交換を行いました。



事例発表の3公民館ごとに分かれ、意見交換を行いました。

○各地区活動紹介



各地区公民館の活動紹介が展示されていました。これからの活動の参考になるチラシが多く置かれてありました。



「地域が輝く 公民館活動」

小千谷市教育委員会生涯学習課
主事 笛木 裕文



小千谷市の東地域には、東小千谷・種生・木津・浦柄・横渡の5つの公民館分館があります。各分館でそれぞれの活動の他に5つの分館役員から構成される東小千谷五分館連絡協議会として地域の方々が連携して活動を行っています。協議会の主要な活動として、35回を数える「明るい東小千谷の集い（東小千谷総合芸術芸能祭）」が9月29日、30日に開催されました。このイベントでは、地区内の分館を中心として活動している方々の書道や写真等の作品を展示する芸術発表

展、ダンスやお囃子を披露する芸能発表を行っています。子どもから大人まで幅広い年代の方が出品・出演され、どの年代の参加者もいきいきと楽しく、自身の成果を発表されてきました。来場者は両日合わせて延べ1200人以上になり、会場は大いに賑わいました。各分館役員の方々も会場の準備・片付けやイベントの運営など大変な仕事でしたが、役員間で連携し、無事にイベントを成功させることができたと思われています。今回のイベントを通じて地域の人た

ちが集まり、一緒に学び合い、その学習成果を地域へ還元していくことの重要性を改めて感じました。今後、もうこういった地域の方々が輝ける場を提供していくために地域の方々の協働を積極的に進め、公民館活動の発展に尽力していきたいと思えます。



視 点



新潟県生涯学習協会
新潟市会員 頓所 洋一

「地域と共に歩む施設」

この3月まで新潟市北区郷土博物館に勤務していました。それまでの間、公民館、図書館に勤務するとともに、連絡所に併設されたまちづくりセンターを管理運営する地域コミュニティ協議会活動の支援も行わせていただきました。

現在、これらの施設の一部は非公募による指定管理者制度の導入や窓口業務の民間委託が行われ、社会教育事業等で知識・技術を得てきた市民団体や企業によって管理運営が行われています。この運営方式はこれまでは市

町村の専門職員、社会教育主事・司書・学芸員とまちづくりに関わってきた地域民が共に考え、取り組んできた事業によって運営の基盤が構築されてきたから可能になったと考えています。そして核となってきた市町村の専門職員等の基本的な役割・責務は不変で、さらに民営化された施設に助言等をしていく必要があります。しかし、市町村の専門職員の減少をはじめ施設職員の短期間の異動等により地域民・団体との協働による地域課題への取り組みや民営化した施設への助言等にも支障を生じつつあると考えています。

職員体制の縮小化は各職場において専門知識・技術の継承をはじめ、地域との交流、人材の発掘・養成に支障をきたすとともに、さらに地域文化の伝承支援等にも影響を及ぼします。職員体制の充実には厳しい財政状況の中でも困難な状況にあります。そこで市町村の専門職員等や関係各課の職員が改めて地域と共に歩んできた各施設や専門職員等が果たしてきた役割を再確認し、今以上に地域課題や施設課題について利用者をはじめ地域民に情報提供し、交流を進め、理解者の輪を広めていく必要があると考えています。そしてこの取り組みによって専門職員等と地域民の顔の見える関係づくり・市民協働がより進み、その成果として職員体制の充実や住み良い地域づくりが図れるものと考えています。

掲示板 HOT NEWS

第2回中越公連代議員会 第2回下越公連代議員会開催される

来年度の活動準備のための代議員会がそれぞれ開催されました。

○第2回中越地区公民館連絡協議会代議員会
日時 平成30年11月14日(水) 15:00～
会場 三条市三条東公民館
協議事項

- 1 事業報告
- 2 会計中間報告
- 3 来年度役員選出

- 4 来年度事業計画案
- 5 来年度予算案
- 6 地区公連負担金
- 7 事業に係る確認事項

○第2回下越地区公民館連絡協議会代議員会
日時 平成30年11月9日(金) 13:15～
会場 新発田市下越教育事務所
1 報告事項

- 研修会、中間決算報告
- 2 協議事項
- 平成31年度県公民館大会について
- 3 確認事項
- 下越地区公民館職員研修会について
- 4 その他
- (1) 県公連情報 広瀬事務局長
- (2) 各市町村情報交換

特集

第40回全国公民館研究集会東京で開催される

今年の全国公民館研究大会が11月1日(木)、2日(金)に東京都日本青年館で行われました。7年に一度の首都圏大会ということで全国から1400人を超える多くの参加がありました。新潟県の参加者は13名(内受賞者4名)でした。2日間の大会をレポートします。



日本青年館玄関前



開式前の会場 1250席が満席でした。入場できなかった人は別室にてテレビで視聴しました。

◆11月1日(木) 1日目 特別講演・シンポジウム

○オープニング

・テーマ 公民館がひらく日本の未来 ～地域性・個性を活かした新しい公民館活動を！～



開会式直前のステージ



開会のあいさつ
全国公民館連合会 石川 正夫会長

○特別講演

特別講演では、イギリス、ドイツ、ブータン等世界各国の民主主義について紹介がありました。

臨教番の答申をふまえ生涯にわたって学び続けることが大切であると国や県で社会教育課を生涯学習課に改編し、生涯学習社会の実現に努めてきた。

「生きる力」を身につけ、自らが学んでいく力をつけることに力を注いできた。

少子高齢化が進み限界集落が増えている現状で、学習できない人たちがどうするか。

社会や地域で助け合い何ができるか考える必要がある。

戦後の民主主義を支えてきたのは公民館であり、何のために公民館があったのかを考え直す必要があると思う。

公民館の唄を取り上げて、困った時は初心に戻ろうと呼びかけがとても印象に残りました。

○シンポジウム「公民館がひらく 日本の未来」

・参加者

- 池上 彰(ジャーナリスト)
- 塩見みず枝(文科省総合教育政策局社会教育振興総括官)
- 牧野 篤(東京大学大学院教育学部研究科教授)
- 吉田 博彦(特定非営利活動法人教育支援協会代表理事)



特別講演講師 池上 彰氏

村松真貴子(全国公民館連合会理事、フリーアナウンサー)

シンポジウムでは、全国3ヶ所(北海道・島根・沖縄)と中継し意見交換が行われました。

・北海道札幌新陽高校の取組

地域のまつり(よさこい)やボランティア活動に高校生が積極的に取り組んでいる。

・島根県浜田市の取組

若い人と年寄りをつなぐ「かたりば事業」を実施している。学校の空き教室を利用して公民館活動を展開している。小中高生と大人と一緒に活動している。

・沖縄県若狭公民館の取組

パーラー公民館を実施している。公民館のない地域に出かけていく。黒板・テーブル・パソルを用意し地域の人が運営している。雨天時は小学校のテラスを利用して

いる。

同時に移動図書館も開設し読み聞かせ等も行っている。



3元中継の様子(沖縄県若狭公民館)



今後の公民館活動の展開に当たっては、首長部局、学校、NPO等の連携・協働が必要だと中教審の答申にも示してありますが、これからの公民館の取り組みにヒントをいただいたシンポジウムだったと思います。

○大会アピール



全国公民館連合会
上村 忠男事務局長

◆11月2日(金) 2日目 合同表彰式

○優良公民館審査会

【最優秀館】

広島市古田公民館(広島県)
多様な世代が支えあふるさとづくりを目指してつなご。

「このまちにくらしたいプロジェクト」は中学生と地域住民が30年後の地域の暮らしを考えた事業を行っている。中学生の発案するワークショップや体験イベントを実施することで地域住民との絆が深まっている。

【優秀館】

越前市岡本公民館(福井県)

成人のつどいをきっかけに青年たちの活動が生まれた。おかもと元気づくり事業から「おかもとイルミフェスタ」「なつ☆スタンド」が生まれ地域住民が盛り上がるイベントになっている。

福井市清水西公民館(福井県)

「こだわりと地域のひととの和(輪)」を広げる公民館活動を目指し、青年教育事業「しみず西遊輝」を立ち上げ、若者の意見交換会を開催した。キャンプやまつり等での活動につながっている。



倉吉市上北条公民館 (鳥取県)

将来の地域リーダーの育成を目指して「上北条ゲームリーダー」制度を考案した。

上北条のPR動画を作成したり、地域学習講座に参加することで、リーダーシップを発揮できるようになってきた。

廿日市市串戸っ市民センター(広島県)

「ほくらのまち わたしのまちプロジェクト」は地域の資源(伝統/施設や団体/商店街を含む)を活用して若い世代の利用を増やすことを目的とした事業を行っている。



最優秀館 広島県広島市
古田公民館の発表

○平成30年度社会教育功労者表彰式

第71回優良公民館表彰式(文部科学省)

新潟県関係

◆社会教育功労者表彰

手島 勇平氏(新潟県生涯学習協会役員)



◆優良公民館表彰(全国65館の内、新潟県2館が表彰されました。)

新潟市小針青山

公民館

関川村公民館



優良公民館表彰 新潟市小針
青山公民館 河原 貢司館長

○全国公民館連合会表彰式

○平成30年度全国公民館連合会表彰式

新潟県関係では4名が受賞しました。

◆永年勤続職員表彰

佐藤みどりさん(田上町公民館)

今井 哲郎さん(加茂市公民館七谷分館)

船山 靖子さん(新潟市中央公民館)

小池恵智子さん(新潟市中地区公民館)



永年勤続職員表彰 新潟市中央
公民館 船山 靖子さん



永年勤続職員表彰 新潟市中地区
公民館 小池 恵智子さん

今年度は、文部科学省と全国公民館連合会の合同表彰式となりました。

受賞された皆様おめでとうございます。

来年は、第41回全国公民館研究集会・第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会が平成31年8月22日(木)、23日(金)栃木県宇都宮市文化会館で開催されます。

(広瀬)



実践記録シリーズ

249

つなげよう、広げよう真野 (真野地区公民館 3つの事業)

真野地区公民館

【概要】

真野地区公民館では失われつつある、人と人との繋がりや地域の絆を取り戻す一助となるよう、「つなげよう、広げよう真野」を合言葉に、公民館が中心となっていくつかの事業を行っております。今回はその中から3つの事業をご紹介します。

【真野地区のつどい】

「つなげよう、広げよう真野」

今年で第4回となる「真野地区のつどい」は、毎年6月の第3日曜日に開催され、保育園児から100歳近いご老人まで参加する最高の世代間交流の場となっています。

保育園児が参加する「かざぐるまとり」、小学生が参加する「パン食い競走」から老健施設の入所者の皆様が参加する「ひも結びリレー」、そして地域間交流の場として、普段あまり接点のない分館の皆様が参加する「分館玉入れ」等々、競技場の歓声は鳴り止むことはありません。

郷土芸能

も披露され、最後には輪になって参加者全員で佐渡おけさを踊って締め括る、地域の特色溢れ、



保育園児が参加する「かざぐるまとり」

保育園児からお年寄りまで笑顔で過ごせるイベントとなっています。

【文化祭】つなげよう、広げよう真野

毎年10月の最終土曜・日曜日の2日間に行われる文化祭は、日頃、公民館自主講座等で磨かれた作品を中心とし、地区の芸術・文化を集めた展示会です。

作品は、書道・編み物・手芸・ちぎり絵・俳句・川柳・生花・墨絵・押絵・絵画・生花など多岐に渡ります。

また、文化祭も世代間交流の場として、保育園児の作品から、老健施設入所者の皆様の作品まで、実に幅広い作品が展示されます。来場される方々の年齢も実に幅広く、毎年延べ700人の来場者をお迎えしております。



ご家族で観覧する方も多くいらっしゃいます

【芸能祭】つなげよう、広げよう真野

毎年2月の最終日曜日に開催される芸能祭は、公民館自主講座登録団体のみならず、近隣の真野小学校・真野中学校の生徒さんも多数参加する地域の一大イベントとして定着しています。

特徴としては、やはり口の演芸会ではなく、その演目の多様さと言えるでしょう。

貴重な文化遺産である文弥人形や佐渡おけさを中学生が演じ踊るのを皮切りに、小学生が参加するダンスパフォーマンスや合唱、佐渡の風土に息づいてきた能楽が演じられ、公民館自主講座生の詩吟や舞踊、合唱など日頃の学習の成果を発表する場としています。

出演される小中学生のご家族や自主講座生のご家族は勿論、地区住民にとっても年に一度の楽しみになっているイベントとなっております。



中学生が演じる「文弥人形」

【今後の課題】

幼児から高齢者まで参加でき、楽しめる内容になっており、一定の成果をあげています。

また、実施する側のスタッフの高齢化が年々進んでおり、観覧するだけでなく、若い方からスタッフとしてどう参加していただくかを課題と考え、工夫を重ねたいと考えます。

(真野地区公民館 半田 卓也)



ストレス解消の特効薬!

関川村バドミントンクラブ

始まりは一昨年公民館の呼び掛け。週1回バドミントンで汗を流そうという募集に最初は5、6人でしたが、今は20人位まで増えました。20歳代から古稀を過ぎた人まで、全くの初心者から中高と部活でやっていた手練まで、年と力に雲泥の差はありますが、楽しくやっています。基礎打ちの後、最初は2点失点交代で体を動かし、身体が慣れてきたところでダブルスを試合方式でやりま



す。一方的な試合にならない様、初心者を0から3、経験者を7から10のレベルに心の中で分けて、合計10になるようチームを組みます。初心者でも自分が0とか1とは思っていない人もいるので「1と0で〇さんと〇さん組んで」と思わず声に出してしま

手作りを楽しむ

キルトプラザ

「キルトプラザ」は、平成4年に発足し、今年で26年目となりました。弥彦総合文化会館(弥彦村公民館との複合施設)を主な活動の場とし、楽しいキルト作品の制作に励んでいます。現在の会員数は40名です。素敵な女性たちが集まり、毎



弥彦村教育委員会 本多志保子 記

週金曜日は会館全体が明るく華やかな雰囲気になります。活動は、週1回の制作活動、年に1回の「作品展」を行い、さらに不定期ですが、村内外のイベントで作品発表や講習会なども行っていてバイタリティーあふれる皆様です。

「キルトプラザ」の皆さん曰く、「ひたすら和やかに、楽しんでおります」とのこと。おしゃべりを楽しむことも、さらに製作活動の力となっているそうです。これからも、すてきな作品を作り続けてほしいと思っています。

(活動期間：4月～7月、9月～3月) 弥彦村キルトプラザ 代表 古谷 孝子

胎内市築地農村環境改善センター 主任 南波 豊さん



築地農村環境改善センターで勤務している南波さんを紹介し、施設の名前からは似つかわしくないですが、公民館類似施設で生涯学習課で管理しています。

区長会、高齢者大学の「よつ葉大学」、中条まつりの民謡流し、陶芸講座など多くの事業をお持ちです。職場は、南波さんと臨時職員1名の2人態勢で頑張っています。

そんな多忙な中でも、草刈りやパネル運びなどの現場作業では手伝いを名乗り出たり、率先して動いたり、周りから頼りにされています。

人柄は温厚で、いつも人好きのする笑顔を絶やさない、冗談好きで、その場を和ませてくれるような方です。その人柄で市民の方々も惹きつけられるのか、声をかけられ楽しげに話している姿を見かけます。

また、以前はホテルで調理をしていた経験もあるそうで、日本食の達人であるとも噂されているので、ぜひ一度ごちそうになりたくも思っています。

事業の事で相談すると、いつもアドバイスやご助力をくださる南波さん、これからもたくさん助けてください。よろしくお祈りします!

(胎内市きのと交流館 今城 彩花 記)

刈羽村公民館(刈羽村生涯学習センター「ラピカ」) スタッフ 五十嵐志帆さん



平成28年から勤務している五十嵐志帆さんを紹介し、

刈羽村の刈羽村生涯学習センター「ラピカ」は、公民館施設、スポーツ施設、文化ホール、図書館等を備えた複合施設です。

五十嵐さんは、それらの広報を一手に引き受け、外部に発信する営業部に所属しています。年4回発行する広報誌「ぴからび」発行の中心メンバーであり、本館のイベントを紹介する魅力的なチラシのデザイン、館内を飾る告知ポスターの制作等を行っています。

それらに加えて、SNSも近年では重要な情報発信ツールです。FacebookやYouTubeから彼女が発信する「ラピカ」の情報は毎回とても親しみやすく、地域の方々に本館を身近に感じていただく大きな力となっています。

そして、五十嵐さんは常に笑顔を絶やしません。どんなに仕事が入り込んでいても、急な依頼であっても、にっこり笑って「はい、わかりました!」と言ってくれる彼女に救われているスタッフは数多いです。

彼女には、「自分の大好きなアーティストを「ラピカ」に呼びたい!」という夢があります。いつかそれが実現する日が来るようスタッフ全員で応援しています。

(刈羽村公民館(刈羽村生涯学習センター「ラピカ」)松原 洋 記)

笑顔拝見

ネットワーク

**平成30年度 第30回
全国公民館セミナー開催**

テーマ
あたらしい「公民館」をさぐる。～人が集まる あたらしい公民館のつくりかた～

会期 平成31年1月30日(水)
～2月1日(金)

会場 国立オリンピック記念
青少年総合センター

プログラム
①1日目
○トークセッション テーマ
「人が集まる公民館を！」
牧野 篤(東京大学教授)×
出野紀子 コミュニティ

デザイナー

- ・公民館の可能性とグローバル化」牧野 篤×南信之介 那覇市繁多川公民館長
- ・これからの公民館のありかた 牧野 篤×文部科学省地域学習推進課長(予定)

○集中講義 前編
「公民館を地域づくりの基盤に」
牧野 篤(東京大学教授)

②2日目
○集中講義 後編
「公民館を地域づくりの基盤に」
牧野 篤(東京大学教授)

○ワークショップ
「人があつまりたいくなる

公民館運営のしかた」
高橋由和 NPO法人きらりよしじまネットワーク事務局長

○特別企画
・オスカーお笑い公民館ライブ！

③3日目
○優良公民館に学ぶ！「人が集まる！」公民館運営
福井市社北公民館 田中 典子

・大竹市玖波公民館 河内ひとみ

・那覇市若狭公民館 宮城 潤

問い合わせは、新潟県公民館連合会 広瀬事務局長にお願ひします。

お元気ですか

「はい。おかげ様で」

長谷川伸子

(柏崎市)



「人生お一人様1回かぎり」
楽しい仲間と出会い、繋がり、
元気であられることに幸せを感じ
ている。

50歳を越え退職後の自分を考
えていた頃に南米音楽に出会っ
た。明るく力強いサウンドに魅
了され、退職後も仲間と共に演
奏活動を続けていられることは
喜びの一つでもある。

市民プラザ(柏崎公民館)のボ
イストレーニング講座受講後、

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

サークル結成と団体登録を行
い、3クラスに増えた会員と共
に「歌う」ことを楽しみ健康づく
りにも役立っている。出会いと
は不思議なもので、ウフレレを
始めてから毎月4～5回のボラ
ンティアやイベントでの活動も
行っている。

活動のベースは市民プラザに
あり、様々な支援をいただいで
いることに感謝している。数え
てみたら、1ヶ月に15日ほど…

年間の半数は通っていること
なり、自分でも驚いている。
これまでに学ばせてもらった
ものを、微力ながら元気なうち
に社会にお返ししたいと考え
「子ども食堂」のスタッフにも加
えてもらったが、私の方が教え
られパワーをもらっている。

一人では心が折れることでも
共に学び支え合い、手と手を繋
げば失敗を恐れず前に進むこと
ができる。

南米音楽・ボイストレーニン
グ・ハワイアン・子ども食堂、「人
生これから、これから」。

未来に残そう美しい山村

山村地域は、食料の生産、水源のかん養、国土の保全、空気の浄化、心のやすらぎの提供など様々な役割を果たし、国民の生命と生活・財産を守っています。

全国山村振興連盟新潟県支部
支部長(糸魚川市長) 米田 徹
新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

編集後記

標準語で話していますかという
テレビ番組がありました。新潟弁
は「い」と「え」の区別がないのが特
徴で、新潟市でインタビューされ
た年配の女性は「いろえんぴこ」を
「えろいんぴつ」と答えていまし
た。知らない人にしたら面白いと

大爆笑でした。
新潟の人が普段何気なく使っ
ている言葉でも県外の人にとっては
不思議な言葉となっているかもし
れません。しかし、そつであつて
も新潟弁や自分の生まれ育った土
地の特別な言葉はこれからも語り
継がれてほしいものです。